



Les Amis de L'Orgue de Tokorozawa MUSE

みなさま、こんにちは。すっかり秋も深まって、コオロギの歌声が心地よいですね。

ついに10月22日が近づいてきました。今回はホール・アドバイザーの松居直美さんの「下總皖一音楽賞受賞記念コンサート」大特集です。コンサートの内容はもちろん、なんと松居さんご本人からのメッセージをはじめ、出演される歴代の所沢ミューズのホールオルガニストのお二人も受賞へのお祝いメッセージを寄せて下さいました。

☆前半の魅力：松居直美さんのオール・バッハを聴く



松居直美さんといえば、日本のオルガン界のリーダー的存在。数々の国際オルガンコンクールで優勝された後、CD 録音や演奏会を通してオルガン音楽を啓発・牽引してこられました。所沢ミューズでは開館以来、アドバイザーとして演奏会やオルガン事業の企画、オルガンスクールの講師など、多岐に渡る甚大な功績を評価され、昨年、下總皖一音楽賞を受賞されました。所沢ミューズが開館する少し前1970年代を皮切りに日本にはパイプオルガンが導入されてきましたが、その頃からオルガン文化を日本に根付かせるために、どれほどのご尽力があった事でしょうか。松居さんご本人にお話を伺いました！

松居直美さんからのメッセージ♪

初めてミューズを訪れたのは、オープンの1年ほど前でした。大オルガンを備えたホールの誕生はそれは楽しみでしたが、当時の私にホールでの継続的な仕事の経験があったわけではありませんでした。ですのでオルガニストとして何ができるか、すべきか、模索と言えば聞こえは良いですが、オルガンという楽器を知ってもらい、その魅力を伝えたい一心とはいえ、振り返れば良かったかどうか、申し訳なささと恥ずかしさも心をよぎります。それから私は色々な仕事をさせていただくようになりましたが、育ててくれた原点であり出発点はここ、所沢ミューズです。しかし同時に今思うのは、一人でできることは限りがあるということです。多くの個性豊かで優秀な、志を同じくする若い世代が各地で活躍を始め、20年前とは比べ物にならない広がりを見せており、その風はミューズにも吹いています。互いに励まし競い、調和するオルガンの新しい景色から私自身も新しいエネルギーを得て、次の勉強をしたいと思っています。



今の私達若手オルガニストにこのようなホール・オルガニストとしての活躍の場を与えられているのも、松居さんを筆頭とする先生や先輩方のお陰なのです。私も憧れの方とのお仕事ということで緊張もありましたが、どんな事を聞いても丁寧に教えて下さり、チャーミングなお人柄も併せて、心から尊敬する音楽家の一人です。「オルガンを未来につなぐ」をコンセプトにして組まれたこの演奏会では、様々な世代の演奏家が彩りを添えて下さいます。前半は松居直美さんによる渾身のバッハ・プログラム「クラヴィーア練習曲集第3巻」を。後半は所沢ミューズの歴代のホールオルガニスト3名が集結し、特別出演の所沢市少年少女合唱団、そして現役オルガンスクール生の2名と共演をします。

所沢ミューズのオルガンの歴史を彩るこのコンサート、どうぞお聴きのがしなく！！

☆後半の魅力：歴代のホールオルガニストが大集結

川越聡子さんからのメッセージ♪（初代ホールオルガニスト）

松居さん、この度は下總皖一音楽賞の受賞、おめでとうございます。記念となるコンサートに、歴代ホール・オルガニスト3人が集い、共にお祝いさせて頂けることを大変うれしく思います！ミューズの開館時、私はオルガンを始めてまだ数ヶ月という、平凡な所沢の高校生で、オルガニストの松居直美さんと言えば、まさに雲の上の存在でした。フランス留学から戻り、ミューズの初代オルガニストとして、様々なことを教わりながら働かせて頂いたことは、今思い出しても奇跡のようで、夢のここのように思います。松居さんのこれまでの「オルガンを未来につなぐ」活動に強く共感し、私も未来ある所沢の子供たちに、オルガンの魅力を伝える伝道師でありたいと思っています。今回の演奏会では、その地元所沢の子どもたちと共演できることも、大きな楽しみです。往年の松居さんファンの方から、オルガンに興味を持ち始めた方まで、どうぞ皆さま一緒に聴きにいらしてください！



ジャン＝フィリップ・メルカールトさんのメッセージ♪（第2代H.O.）

松居直美さんの下總皖一音楽賞受賞コンサートに参加させていただくことができ、大変光栄に思っています。私は、**所沢市少年少女合唱団**とともに下總皖一メドレーと、フランス民謡のメドレーをお送りします。フランス民謡メドレーはこのコンサートのために、私がいくつか選び、オルガン用にアレンジをしました。8月の終わりにリハーサルがあり、子供たちが一生懸命フランス語の歌を歌っているのをみて素晴らしいと思いました。日本とフランスの童謡のそれぞれの魅力を感じていただける時間になると思いますので、どうぞお楽しみに！また、ミューズでの3年間で、様々なアイデアのコンサートをやらせていただきましたが、それがきっかけで特に編曲を自分で手がけることの興味が広がりました。アンコールでも何かを編曲していますので、どうぞご期待ください！



最後に私・**梅千野安未**は、2013年4月よりオルガニストを務めております。松居さんが開館当初から力を入れて取り組まれて来た《オルガンスクール》についてご紹介、そして今回はその中から上級クラスに在籍している2名の現役スクール生の**羽鳥惇君**（写真左）と**和田優花さん**（写真右）にそれぞれバッハの作品を演奏して頂き、最後にはこの演奏会の最後を飾るべく、3人でワーグナーのオペラ作品を連弾します。実に年齢も15才以上も離れている私達ですが違和感ないでしょうか？！このように若い世代にもオルガン音楽が親しまれ、とても嬉しいです。豪華な出演者とともに松居さんの《未来へつなぐ》信念を共有し、この願いをみなさまにお伝えできればと思っています。出演者一同、大ホールでお待ちしております！

